

# 目 次

口 絵 国指定の名勝 「寝覚の床」、上松町の空中写真、上松町の「木」「鳥」「木の花」「草の花」「天然記念物」、天文台など

発刊にあたって  
発刊をお祝いして  
例 言

## 第1編 地形・地質

第1章 総 説	3
第1節 位 置	3
第2節 地 形	5
第2章 地 質	14
第1節 地質のあらまし	14
第3章 各地の地質	19
第1節 地質の区分	19
第2節 中古生層	19
第3節 花崗岩類	24
1 木曾駒花崗岩	30
2 上松 苗木花崗岩	30
3 伊奈川花崗岩	33
第4節 濃飛流紋岩	36
第5節 玄武岩	40
第4章 段丘堆積物	43
1 高位段丘	43
2 庄屋林面	44
3 松源地面	44
4 高部面	44
5 山平面 坂下面	44

6 坂下町西方寺面 福島町平面	44
<b>第5章 御岳火山噴出物</b>	45
1 御岳火山の活動	45
2 御岳火山噴出物と上松町	49
3 樹木化石について	50
<b>第6章 温 泉</b>	52
<b>第7章 地質構造・木曾谷断層系</b>	56
1 上松断層	56
2 肥沢断層	59
3 小川断層	60
4 灰沢断層	60
5 台ヶ峰断層	60
おわりに	61
参考文献	63

## 第2編 気 象

<b>第1章 総 説</b>	69
第1節 上松町の気象概観	69
1 地理的位置と気候	69
(1) 低い平均気温	69
(2) 多い降水量	71
(3) 弱 い 風	72
(4) やや少ない日照時間	73
(5) 太平洋側の気候に近い内陸性の気候	74
2 上松の四季	76
(1) 春 (3月 4月 5月)	76
(2) 夏 (6月 7月 8月)	76
(3) 秋 (9月 10月 11月)	77
(4) 冬 (12月 1月 2月)	78
3 上松の気象観測について	79
第2節 気象の諸要素	81

1 気 温	81
(1) 月別平均気温	81
(2) 同時観測による気温分布	85
(3) 駒ヶ岳の気温 (夏山)	86
(4) 動植物の季節	87
※ 「気団」について	88
2 降 水 量	88
3 風	93
① 伊勢湾台風について	
② 風力について	
4 湿 度	98
5 その他の気象	104
(1) 霜	104
(2) 雷	105
(3) ひょう	106
<b>第2章 気象と生活</b>	<b>108</b>
第1節 気象と災害	108
第2節 天気に関する俚諺	112
1 上松の俚諺など	112
(1) 倉 本	112
(2) 西 中	112
(3) 東 里	113
2 木曾の俚諺	113
(1) 山 と 川	113
(2) 動 物	114
(3) 植 物	115
(4) 人 間	115
(5) 日常生活	115
(6) 方 位	115
(7) 自然現象	116
(8) 天 体	116
付 季節ダイヤル	117

生物季節ダイヤル	118
参考 引用文献	119

## 第3編 動物

総説	137
----	-----

第1章 昆虫類	139
---------	-----

1 自然環境と昆虫	139
2 昆虫とその種類	140
3 昆虫のからだのつくり	140
4 身近な昆虫	142
(1) 甲虫類	142
(2) アブ ハエ類	153
(3) ハチ アリ類	155
(4) 脈翅目	158
(5) セミ類 カメムシ類	158
(6) バッタ コオロギ類	161
(7) カマキリ目	165
(8) ナナフシ目	166
(9) トンボ類	166

第2章 蝶類	175
--------	-----

第1節 木曾谷の蝶	177
-----------	-----

1 木曾谷の概観	177
2 木曾谷の科別にみた蝶種数	179

第2節 上松町の蝶類	179
------------	-----

1 蝶類の分布上からみた上松町の概観	179
2 歴史的に見る上松町の蝶類調査研究	180
3 現在までに調査採集また確認された上松町の蝶類	182
(1) セセリチョウ科 HESPERIIDAE	182

- ① チャマダラセセリ ② ミヤマセセリ ③ ダイミョウセセリ ④ アオバセセリ ⑤ キバナセセリ ⑥ ギンイチモンジセセリ ⑦ キマダラセセリ ⑧ スジグロチャバナセセリ ⑨ ヘリグロチャバナセセリ ⑩ ヒメキ

- マダラセセリ ⑪ コキマダラセセリ ⑫ コチャバネセセリ ⑬ ホソバセセリ ⑭ オオチャバネセセリ ⑮ チャバネセセリ ⑯ ミヤマチャバネセセリ ⑰ イチモンジセセリ ⑱ ホシチャバネセセリ
- (2) アゲハチョウ科 PAPILIONIDAE ..... 190  
 ⑲ ウスバシロチョウ ⑳ キアゲハ ㉑ アゲハ ㉒ ジャコウアゲハ ㉓ オナガアゲハ ㉔ クロアゲハ ㉕ モンキアゲハ ㉖ カラスアゲハ ㉗ ミヤマカラスアゲハ
- (3) シロチョウ科 PIERIDAE ..... 194  
 ㉘ モンシロチョウ ㉙ スジグロチョウ ㉚ エゾスジグロチョウ ㉛ ツマキチョウ ㉜ スジボソヤマキチョウ ㉝ ヤマキチョウ ㉞ キチョウ ㉟ ツماغロキチョウ ㊱ モンキチョウ
- (4) シジミチョウ科 LYCAENIDAE ..... 198  
 ㊲ ムラサキシジミ ㊳ ウラゴマダラシジミ ㊴ ウラキンシジミ ㊵ オナガシジミ ㊶ ウラクロシジミ ㊷ エゾミドリシジミ ㊸ ミドリシジミ ㊹ メスアカミドリシジミ ㊺ アイノミドリシジミ ㊻ トラフシジミ ㊼ コツバメ ㊽ カラスシジミ ㊾ ミヤマカラスシジミ ㊿ キマダラルリツバメ ① ゴイシジミ ② ベニシジミ ③ ウラナミシジミ ④ ツバメシジミ ⑤ ヤマトシジミ ⑥ スギタニルリシジミ ⑦ ルリシジミ ⑧ ゴマシジミ ⑨ ヒメシジミ
- (5) ウラギンシジミ科 CURETIDAE ..... 207  
 ⑩ ウラギンシジミ
- (6) マダラチョウ科 DANAIDAE ..... 207  
 ⑪ アサギマダラ
- (7) テングチョウ科 LIBYTHEIDAE ..... 208  
 ⑫ テングチョウ
- (8) タテハチョウ科 NYMPHALIDAE ..... 208  
 ⑬ コヒョウモンモドキ ⑭ クモガタヒョウモン ⑮ ミドリヒョウモン ⑯ メスグロヒョウモン ⑰ ウラギンスジヒョウモン ⑱ オオウラギンスジヒョウモン ⑲ ウラギンヒョウモン ⑳ オオウラギンヒョウモン ㉑ ギンボシヒョウモン ツماغロヒョウモン ㉒ イチモンジチョウ ㉓ アサマイチモンジチョウ ㉔ コミスジ ㉕ フタスジチョウ ㉖ ホシミスジ ㉗ ミスジチョウ ㉘ オオミスジ ㉙ サカハチョウ ㉚ クジャクチョウ ㉛ ヒメアカタテハ ㉜ アカタテハ ㉝ ルリタテハ ㉞ エルタテハ ㉟

キタテハ 86 シータテハ 87 ヒオドシチョウ 88 キベリタテハ 89 ス  
ミナガシ 90 コムラサキ 91 オオムラサキ

(9) ジャノメチョウ科 SATYRIDAE ..... 220

92 ヒメウラナミジャノメ 93 ウラナミジャノメ 94 ベニヒカゲ 95 ク  
モマベニヒカゲ 96 ジャノメチョウ 97 ヒメジャノメ 98 コジャノメ  
99 クロヒカゲ 100 ヒカゲチョウ 101 クロヒカゲモドキ 102 ウラジャノ  
メ 103 ツマジロウラジャノメ 104 サトキマダラヒカゲ 105 ヤマキマダラ  
ヒカゲ 106 ヒメキマダラヒカゲ 107 キマダラモドキ 108 オオヒカゲ

参考文献..... 227

### 第3章 脊椎動物..... 228

#### 第1節 鳥 類..... 228

1 上松に生息する鳥..... 229

(1) 鳥類が生息する環境..... 229

(2) 上松に生息する鳥..... 230

① 燕 雀 目 (エンジャク)

② 雨 燕 目 (アマツバメ)

③ 怪 鷗 目 (ヨタカ)

④ 翡 翠 目 (カワセミ)

⑤ 啄木鳥目 (キツツキ)

⑥ 杜 鵑 目 (ホトトギス)

⑦ 梟 鷗 目 (フクロウ)

⑧ 鷲 鷹 目 (ワシタカ)

⑨ 鳩 鷗 目 (ハト)

⑩ 鶺鴒 目 (ジュンケイ)

⑪ 鶴 目 (ツル)

⑫ 鶴 鷲 目 (コウノトリサギ)

⑬ 雁 鴨 目 (ガンカモ)

⑭ 鷓 目 (シギ)

⑮ 鷗 目 (カモメ)

(3) 鳥の分布..... 241

① 赤沢自然休養林付近の鳥たち

② 滑川以南倉本までの鳥たち

③ 水辺の鳥たち	
④ 集落 農耕地の鳥たち	
2 鳥の体外部の名称	247
3 鳥の渡り	249
(1) わたりにする鳥	249
① 夏 鳥	
② 冬 鳥	
③ 旅 鳥	
④ 迷 鳥	
(2) わたりにしない鳥	250
① 漂 鳥	
② 留 鳥	
(3) わたりの原因	251
(4) わたりの時期と方向	251
4 鳥と人とのかわり	252
(1) 狩 獵	252
① 上松町における狩獵禁止場所	
② 鳥獸保護員	
(2) 野鳥の飼育	256
(3) 益鳥と害鳥	257
(4) 鳥とことわざ	257
(5) 鳥と方言	258
(6) 県や市町村の鳥	259
(7) そ の 他	260
① 貨幣にみられる鳥	
② 星座と鳥	
③ 郵便切手と鳥	
④ 家紋に使われる鳥	
⑤ 万葉集にでてくる鳥	
⑥ 鳥名のついた生物や物の名前	
⑦ 鳥の名のついた日本酒	
⑧ 昔話や童謡にでてくる鳥	
(8) 野鳥の保護	265

- ① オオハクチョウが鉛中毒
- ② 東京の矢負いガモ やっと保護手術
- ③ ハクチョウに虐待 最上川 3羽の首に棒ブスリ
- ④ もうやめて ひどすぎる 熊野でカモメ受難

参考 引用文献..... 267

第2節 哺乳類..... 269

1 各種哺乳類の生態..... 269

(1) 大型哺乳類..... 269

- ① ニホンカモシカ A 嗜食の高い採食植物 B 生息の環境要因 C 接触行動
- ② ツキノワグマ
- ③ ニホンザル
- ④ ニホンイノシシ

(2) 中型哺乳類..... 272

- ⑤ ホンドキツネ
- ⑥ ホンドイタチ
- ⑦ ムササビ
- ⑧ アナグマ
- ⑨ ノウサギ
- ⑩ ハクビシン
- ⑪ ホンドタヌキ
- ⑫ ホンドテン
- ⑬ オコジョ
- ⑭ リス
- ⑮ ホンドモモンガ
- ⑯ ヤマネ
- ⑰ ドブネズミ
- ⑱ ホンドハツカネズミ
- ⑲ ホンドヒメネズミ
- ⑳ ホンドアカネズミ
- ㉑ ホンドクマネズミ
- ㉒ ホンドハタネズミ
- ㉓ ヒミズ
- ㉔ ヒメヒミズ
- ㉕ ホンシュウトガリネズミ
- ㉖ ホンシュウジネズミ
- ㉗ ニホンカワネズミ
- ㉘ キクガシラコウモリ
- ㉙ モモジロコウモリ
- ㉚ ウサギコウモリ
- ㉛ コテングコウモリ

第3節 魚類..... 278

1 上松に生息する魚類..... 278

(1) 魚類の分布..... 278

(2) 魚類の生態..... 282

- ① ヤマトイワナ
- ② アマゴ
- ③ ヤマメ
- ④ ウグイ
- ⑤ アブラハヤ
- ⑥ コイ
- ⑦ ニジマス
- ⑧ カジカ
- ⑨ ヨシノボリ
- ⑩ アジメドジョウ
- ⑪ アカザ
- ⑫ カマツカ
- ⑬ ウナギ
- ⑭ アユ
- ⑮ メダカ
- ⑯ ギンブナ
- ⑰ ドジョウ

(3) 魚の体の部分の名前と用語解説..... 287

2 木曾谷の研究史..... 288

(1) 赤沢養マス水槽の水温及び自然流の水温..... 289

(2) 王滝濁川の強酸性水中に棲むカゲロウ幼虫..... 289

(3) ヤマメとアマゴの特徴と分布..... 290

(4) 王滝川上流産イワナの食性..... 290

(5) アジメドジョウとシマドジョウの形態比較..... 293



(6) アジメドジョウとシマドジョウの口部形態, 口唇, 口ひげの比較	293
(7) アジメドジョウの天然餌料の一例	293
(8) ヨシノボリの櫛鱗	293
3 上松の漁業	294
4 人とのかかわり	296
5 珍味なアジメ	296
6 魚の俚諺	297
第4節 爬虫類 両生類	299
1 爬虫類	299
① マムシ ② ジムグリ ③ ヤマカガシ ④ アオダイショウ ⑤ シマヘビ ⑥ ヒバカリ ⑦ トカゲ ⑧ カナヘビ	
2 両生類	300
⑨ カジカガエル ⑩ アマガエル ⑪ トノサマガエル ⑫ ヒキガエル ⑬ ヤマアカガエル ⑭ イモリ ⑮ クロサンショウウオ ⑯ ヒダサンショウウオ ⑰ ハコネサンショウウオ	
3 俚諺	301
参考文献	302

## 第4編 植 物

第1章 総 説	329
第1節 植物概観	329
1 植物の分布	329
2 植物の分布帯	329
(1) 山地帯下部 山麓帯 (中間温帯) 標高およそ500~1,000mまでの地域	331
(2) 山地帯上部 低山帯 (温帯) 標高およそ1,000~1,500mまでの地域	332
(3) 亜高山帯 (亜寒帯) 標高およそ1,500~2,500mまでの地域	333
(4) 高山帯 (寒帯) 標高およそ2,500m以上の地域	334
第2章 各 説	335
第1節 赤沢の植物	335
1 赤沢で見られる主な樹木 野草の説明	337
2 木曾五木とそのいわれ	342
第2節 駒ヶ岳登山道の植物	346
1 木曾駒ヶ岳の特産種 稀種・珍種	351

2 上松町で発見されたスマレ	352
第3節 天然記念物（植物の部）	355
1 天然記念物指定植物補記	359
第4節 町木 町花	363
1 町木 木曾ヒノキ	363
2 町花(木本) オオヤマレンゲ	364
3 町花(草木) ササユリ	365
第5節 植物と年中行事	366
第6節 食用植物	368
1 若芽の利用	368
2 果実の利用	370
3 根, りん茎の利用	370
第7節 植物の方言	372
第8節 帰化植物	380
第9節 しだ類	383
1 路傍や石垣, 田畑の周囲小沢, 原野など低地で普通に見られるもの	383
2 山地の森林帯にかけて多く見られるもの	384
3 亜高山から高山帯にかけて見られるもの	386
第10節 木曾採葉記	387
付 木曾採葉記(原文)	394
第11節 きのこと類	396
1 概要	396
2 木曾採葉記などにでてくる「きのこ」	396
3 上松町の「きのこ」と方言など	397
4 「きのこ」の種類	399
主要参考 引用文献	403

上松町誌編纂委員会

上松町誌専門委員会(執筆)

あとがき

附 図

- 1 上松町地質図(50,000/1)袋入
- 2 上松町図(25,000/1)袋入